

実施クラス	実施日	実施保育者名
4.5 歳児 たいよう・にじ 組	10 月 27 日 ( 月 )	菅原・中西

## ● 実施計画

活動テーマ		環境設定 ・ 準備物
「えいごってどこの言葉？」		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>運動会の万国旗を見て、地球儀や図鑑に触れ、世界の国に関心を示している。 また、身近にあるアルファベットや英単語に興味を持ち「これは何て読むの？」と保育者に質問する姿が見られる。こうした日頃の関心を受け「えいごってどこの言葉？」という探究テーマを設定した。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
16:15	<p>【探究活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万国旗を見て出た疑問をみんなで共有する。</li> <li>・地球儀や図鑑を使って英語が使われている国を調べる。</li> <li>・英語圏の国や言葉について関心を持つ。</li> <li>・簡単な言語や挨拶を聞いたり、子ども同士で「どの国の言葉か」話し合う。</li> <li>・ハロウィンの行事が近く、それと関連付けて話す。</li> </ul>	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀、世界の国旗や簡単な図鑑</li> <li>・座って話せるスペースを確保</li> <li>・タブレット・モニターのコード類は子どもが引っ掛からないよう整理</li> <li>・子どもが失敗を恐れず自由に試せるよう、温かく見守る雰囲気作り</li> <li>・視覚的に英語や探究テーマに関するものを貼り、興味を引き出す</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパッと英語タブレット</li> <li>・モニター</li> <li>・地球儀や世界地図</li> <li>・アルファベット表</li> </ul>
16:25	<p>【英語活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「The Alphabet Song」「The Morning Song」を歌う。</li> <li>・キャラクター紹介や簡単なフレーズを声に出す。</li> <li>・パパッと英語タブレットで英語の音やリズムに触れる。</li> </ul>	
16:40	<p>【探究活動③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語でインタビューごっこ遊び。</li> <li>・「Hello.」「Goodbye.」などの挨拶をゲーム遊びやごっこ遊びに取り入れる。</li> <li>・クラス内で身近なアルファベット探し。</li> <li>・みんなで「こんにちは」「Hello」「你好」など、いくつかの国の挨拶を試す。</li> </ul> <p>今日学んだ言葉や楽しかったことを話す時間。</p>	
16:50	終了	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の疑問から、活動を広げられるようにし、地球儀や図鑑を使って国と言語の関係を調べ、「なぜ？」に寄り添いながら探究心を育んだ。</li> <li>・日本語と英語のあいさつを比較するために、様々な教材を準備し違いに気づいた子どもたちの興味をさらに広げられるようにした。</li> <li>・日本語だけでなく、アルファベットや様々な言葉の文字への関心が深まるよう様々な発見を楽しめるようにした。</li> <li>・行事と絡めることで興味関心を深めた。どんな発言も承認し、参加することの意欲も損なわないよう配慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万国旗や地球儀や図鑑を見て「英語はどこ国の言葉？」と興味を持ち、自発的に調べる姿が見られた。</li> <li>・玩具の箱や、廃材、身近な物の中からアルファベットを見つけ、「ここにもある！」と喜びながら文字への関心を深めていた。</li> <li>・英語の歌を口ずさみ、リズムや発音に親しむ様子が見られた。わからなくても「もう一回聞きたい」とリクエストし英語に触れることに楽しんでいた</li> <li>・日本語と英語の発音の違い(例:「ゴースト」と「ghost」)に気が付き、真似しようとしていた。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を通じて世界の文化や言語に触れ、子どもたちの探究心が高まった。</li> <li>・言葉や挨拶の違いから異文化理解の重要性を感じた。</li> <li>・音やリズムを楽しみながら主体的に学び、コミュニケーション力も育まれた。</li> <li>・子どもの疑問に寄り添い、言語だけでなく文化にも関心を広げる支援が大切だと実感した。</li> <li>・今後は英語を起点に多様な探究テーマと結びつけ、より深い学びを目指したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの日常的な興味関心から自然に発展し、保育者の丁寧な関わりによって深い学びへとつながっていて良かった。</li> <li>・保育者は、子ども一人一人の問いや発見を大切にしながら、多角的な視点と豊かな専門性を活かし、探究活動を支えていることが望まれます。子どもたちの探究の幅を広げるとともに、保育者間の連携や情報共有を行い、支援体制を検討していく。</li> <li>・この活動が、子どもたちの主体的な学びと多文化理解を深める土台となり、園全体の教育力向上につながるよう期待。</li> </ul>